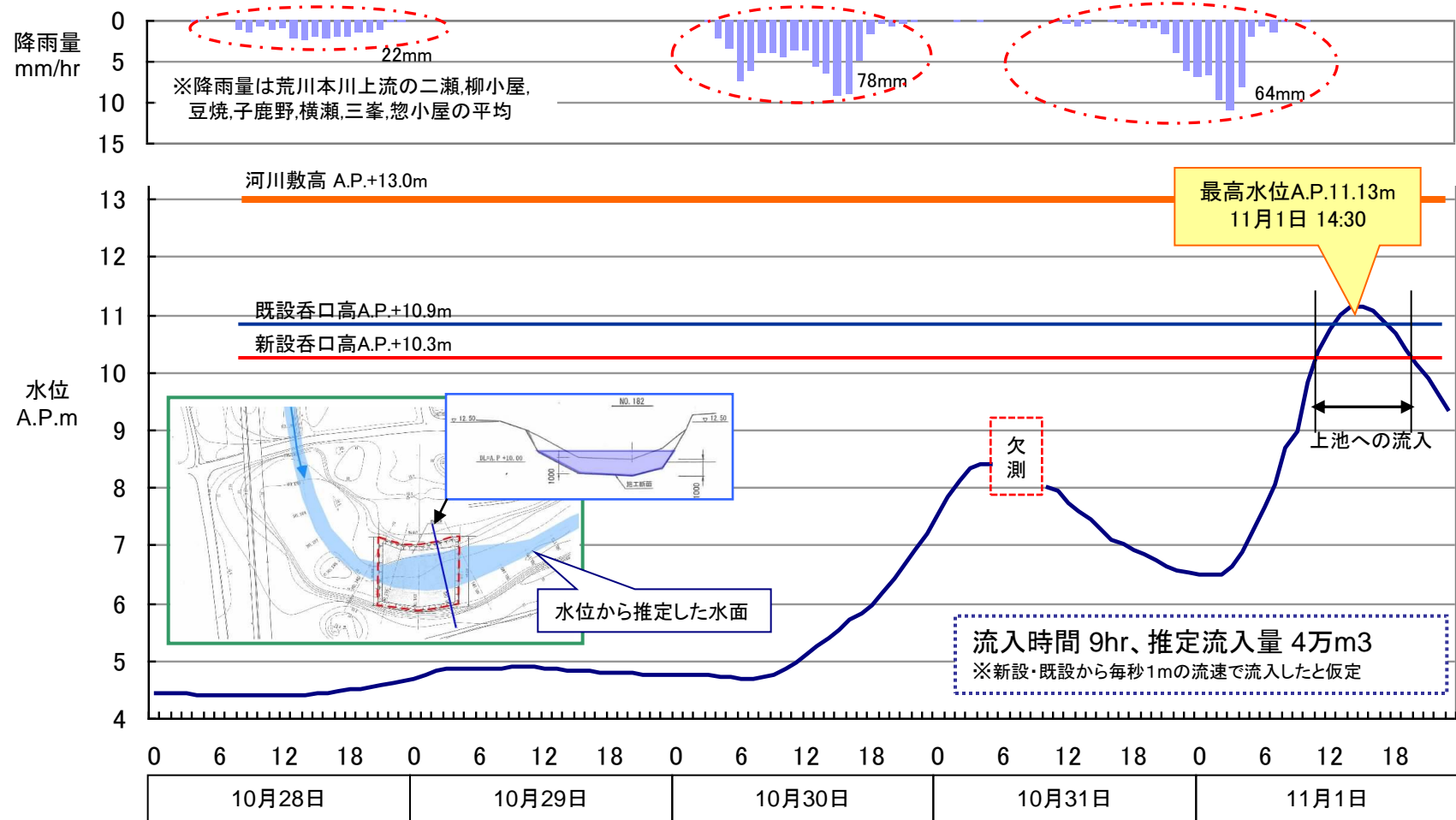


呑み口切り下げ後の洪水流入状況について

過去の呑み口からの流入状況(H22.11.1)

平成22年11月1日出水

- 11月1日の台風による荒川太郎右衛門橋の水位上昇は28日、30日の前期降雨により荒川の水位が上昇したあとに、31日～1日にかけて雨が降ったため、水位が急激に上昇した。なお、28日から1日にかけての上流域の総雨量は164mmであった。
- 11月1日の台風による上池への流入は、荒川本川の水位より推定すると、新設の呑み口からは11月1日の11時～19時20分までの8時間20分間、既設の呑み口からは12時40分～16時50分の4時間10分であった。



11月1日の洪水による上池流入について

- 11月1日のピーク水位時の状況と、翌日の洪水終了後の状況の比較によると、荒川側では、ピーク水位付近までゴミの堆積が見られ、上池内の水位は、ピークに比較してわずかに低下している。

洪水終了時にはスクリーン前面にゴミが堆積

洪水終了時はフラップゲートが閉じて、逆流が防止されている。

洪水終了時はピーク水位時に比較してわずかに水位が低下

11月1日 14時頃(ピーク水位)



11月2日 16時頃(洪水終了)

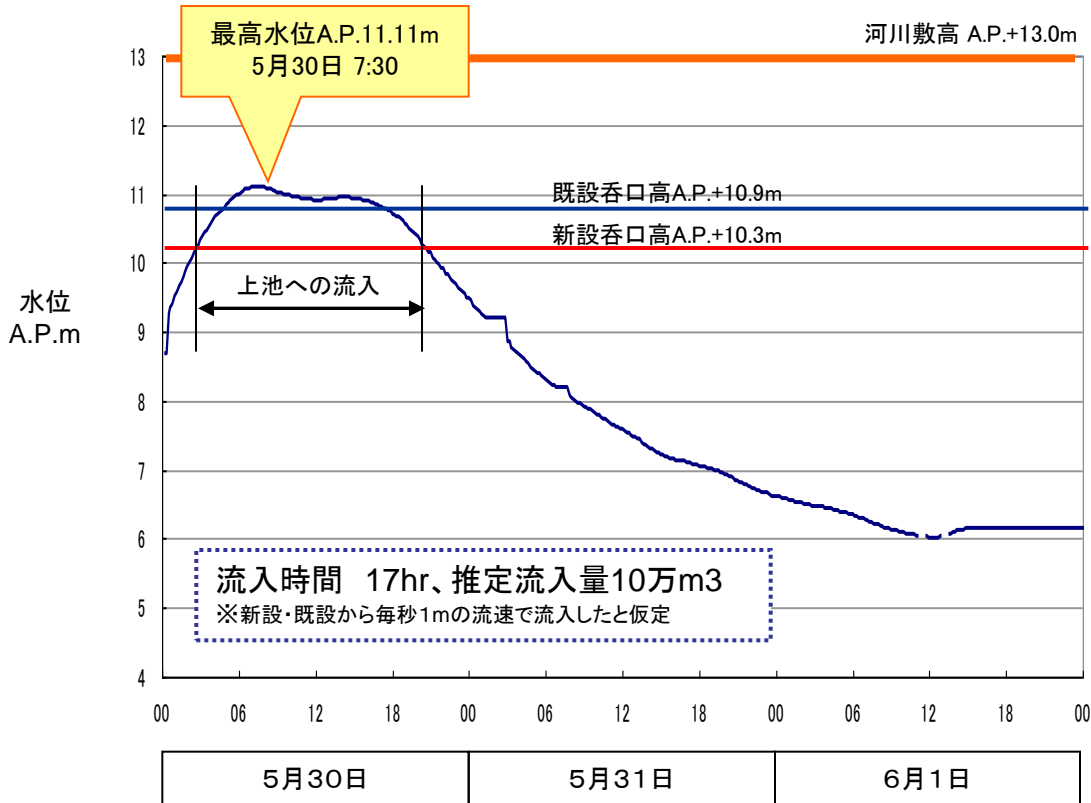


過去の呑み口からの流入状況 (H23.5.30)

平成23年5月30日

- 5月30日の温帯低気圧による出水にともない、荒川太郎右衛門橋の水位は上昇し、呑み口から旧流路(上池)に流入した。
- 5月30日の上池への流入は、新設の呑み口から3時~20時までと推定される。

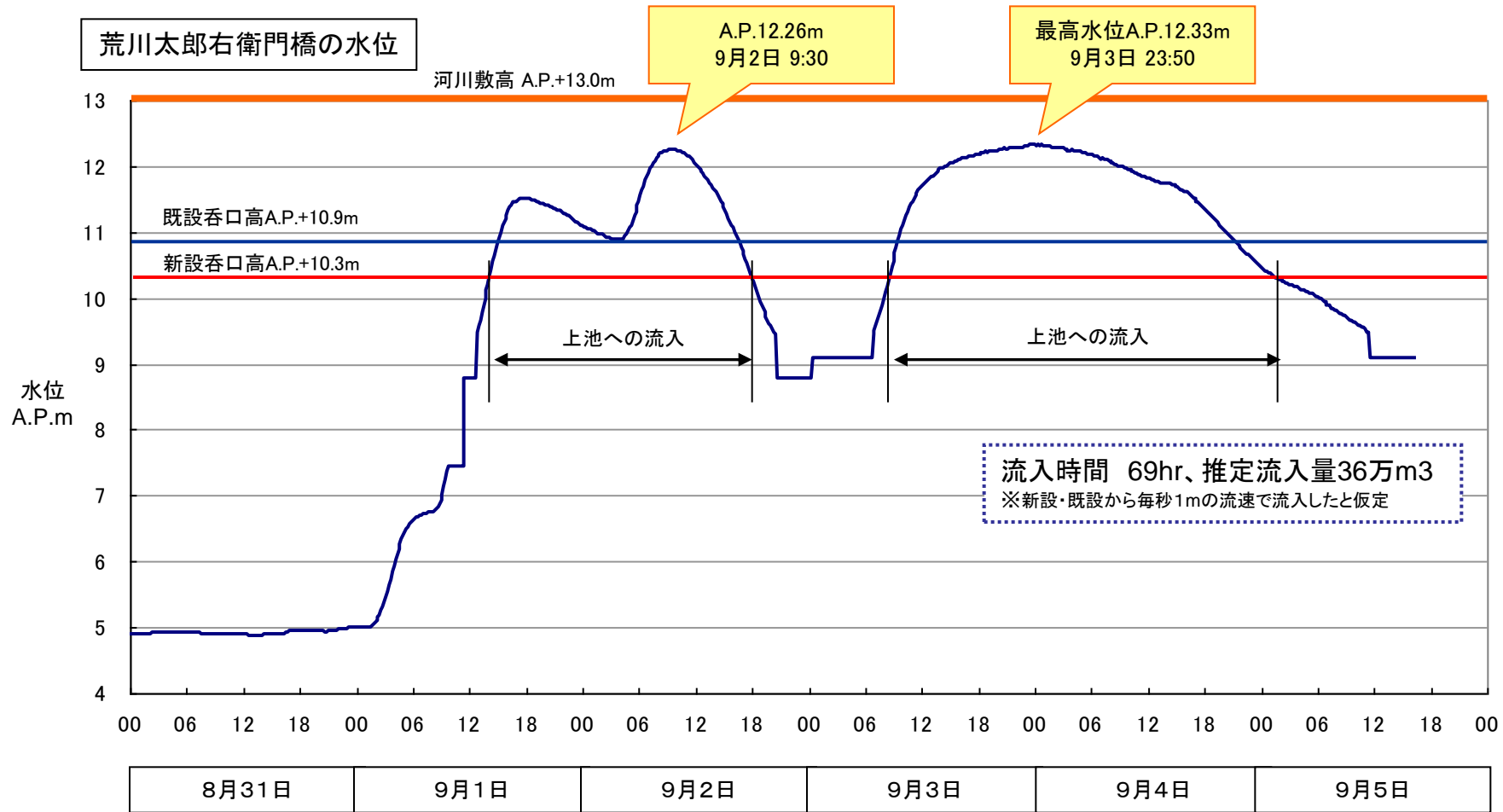
荒川太郎右衛門橋の水位



呑み口からの流入状況 (H23.9.1~9.5)

平成23年9月1日

- 9月1日の台風12号に伴う出水により、荒川太郎右衛門橋の水位は上昇し、呑み口から旧流路(上池)に流入した。
- 上池への流入は、9/1~9/2と9/3~9/5の2回、長時間にわたり流入した。ピーク水位は2回目の流入時に記録している。



呑み口からの流入状況 (H23.9.1~9.5)



呑み口からの流入状況 (H23.9.21~9.22)

平成23年9月21日

- 9月21日の台風15号に伴う出水により、荒川太郎右衛門橋の水位は上昇し、呑み口から旧流路(上池)に流入した。
- 上池への流入は、9/21の夜から翌日の昼まで発生した。
- 上池への流入は計画では20年間で30回であるが、切り上げ後の2年間で4回流入が発生したことになり、計画以上の頻度となった。

